

現代社会論

——社会学で探る私たちの生き方

本田由紀 編

2015年6月発売 / 220頁 / 本体1800円+税
A5判 / 並製



編集
担当者
から

生活や仕事が不安定となり、厳しい競争、冷酷な排除、巧妙な飼いならしがますます強化されている現代日本社会。その出口はどこにあるのでしょうか。本書は、社会学の理論・概念やさまざまなデータを使って現代社会を読み解きながら、よりよい社会の姿を追求します。

社会の全体は把握しきれず、不可視なもの。そして自分自身こそ把握しきれず、不可視なものです。だからこそ、社会と自分に驚きをもって出会い続けようとするにしか、この「閉塞感」溢れる社会の出口はないのではないか——本書はさまざまな事象に光を当てながら、その出口を探ります。

編者は、いまもっとも力強く社会にメッセージを発信する社会学者の本田由紀・東京大学教育学部教授。気鋭の若手社会学者6名と共に、「教科書らしくない教科書」を書き上げていただきました。法律とは別の視点で社会にアプローチする本書を、ぜひお手にとって読んでみてください。(CM)

Point!

P

各章のタイトルは、言説、能力、仕事、友だち、家族、居場所、排除、分断というキーワード。



1 「友だち」のあり方は社会的に規定される

「中学生の「友だち」関係は変わってしまったのか？」

現代の中学生の「友だち」を取り巻く環境は、過去と比べて携帯電話やインターネットの普及などのメディアの発達とともに大きく姿を変えたといわれている。とくに、中高生を代表とする、ある程度高い年齢層の「友だち」関係は、

80 ● CHAPTER 4 友だち